

②施設長会議（令和 4 年 7 月 27 日開催）にて頂いたご意見（施設別：五十音順）

※青字は施設長会議時に市から回答した内容です。

【あおば保育園】

- ・途中で仕事を辞めたり、兄弟で下のお子さんの受入ができていないということは園としてある。
- ・旧南河内町地域で通園中の保護者からも比較的近い、居住している方が多いエリアに引っ越しをし、説明をして特別反発とかむしろ歓迎したいと理解いただいている。
- ・低年齢児のお子様が増えるので、受入を考えると定員増になるのは認定こども園化になる時、他の施設も定員増していると話があったが、これは自然な形なのではないかと。保護者のことを考えるといいことなのではと主張したい。

【こがねい保育園】

- ・認定こども園になるのは、1号2号とか親の仕事に限らず、仕事に限らず続けて通えるということで、とてもいいことではないかなと思っている。
- ・認可定員なのか利用定員なのか定員について話があったが、こがねい保育園は元々認可定員が 90 名、今年度は人数が非常に少ないってということで、利用定員を 80 名に下げた。その際も市と利用者が少ないってことで協議して、決定したが、毎年利用定員の協議の方は各園しているのではないかと思う。
- ・認可定員は、建物の大きさに合わせて最大で見ている、利用定員については毎年市と利用者の人数に合わせて、協議して進めていくというのが 1 番ベストではないかと思う。
- ・利用定員だけが上がってしまうと、子ども一人にあたる単価も下がり、運営が苦しくなったりすると思うので、利用定員を上げればいいっていうのではない。

【第二愛泉幼稚園】

- ・子育て支援事業計画変更に限らず定員増は、それぞれの幼稚園にバランスよく定員増考えられるのでは。1 園だけ定員増して、ここだけが足りないってことは全体のバランスを見て良くやる必要がある。皆、子ども達の為に一生懸命やっているのに、声もかけないのは特別扱い。他の施設にも声をかける必要があった。
- ・計画の変更は 5 年に 1 度見直すことになっていて、計画以前にこの計画は進んでいて、事業計画変更については今頃やっている。2 年も 3 年も前からホームページに載せていて、定員増するって話だから本末転倒で、順序が逆。
- ・定員増ということになれば平等化を考え、こういう風にしたいが、皆さんのところ増やすかって話を市がしなくてはならない基本的なプロセス。そのプロセスを全部とばして、

薬師寺保育園の認定こども園になることに関してここだけを定員増しましょうっていうのは、それは不公平不平等極まりない。

・定員増はこじつけ。認定こども園に無理やり計画変更をその為だけに作っている。これは施設長達が先に審議することで、出来上がっていることが問題。順序、プロセスが大事って言っている。こじつけられたのをそうですねってはい。とは言にくい。

・他の園長達は皆静かだから誰も文句を出ないから、どんどん進めたっていう声も聞こえるし。クレーム言わないからって進めたって噂がある。

・皆が文句言ったら、支援計画を見直しするって突然出てきた。最初からこれを見直し時期にやりましょうっていうなら、何にも言わない。

・計画変更をしていいという話になって、後付けにして、慌ててやった話で、行政として最もやってはいけない話。事前にやらなくてはいけない。

・定員を大幅に増やすっていうのは、本来なら通園区域が変わらないっていうのが原則。保育園はそのための施設。近くの子どもの施設の施設を2.5キロも離れたところに移転して、認定こども園OKって言っている市が地域の調整をしなかった問題が残っている。

・事前に協議して皆が納得して、市の職員が相対で決めていい訳じゃない。

・子育て会議に諮って、意見を尊重して、その意見を基に計画をたてなくてはならないっていう風に法律に書いてある

・5年間の計画期間の中で、今年度中間見直しの時期で、実情やら情勢の変化をとらえた中で見直しができる。今年度がその年で、そのタイミングとあると考えている。

・利用定員については毎年施設と話をさせて頂いている。

・噂のようなことはない。市として特別扱いは一切していない。

・計画をたてるにあたっては、低年齢児の対応、潜在的待機児童の対応、認定こども園化というのが今回の計画の中でも、課題として計画に盛り込んだ。特に一園ばかりというのは決してない。

・5年間の計画の中で、中間年にはこういった見直しもあるということが入っている。中には5年間見込み量など大きく乖離していなければ、中間見直しをしない例もある。

・市としては、計画当時には盛り込めなかったところが、低年齢児の受入態勢の確保など課題解消になるということがあったので、中間見直しに合わせて、見直しをしていこうということ。慌ててやっているとかではない。

・将来を見越して盛り込めれば一番だが、その時の状況によって見込めなかったものを見直すのが中間見直しである。今年が中間見直しの年で、見直ししましょうという話である。先のことはわからないから、色々状況が変わった時は変更する。

・位置付けされていなかったことが問題だったので、中間見直しの年でもあり、それも他の見直し項目と併せてやりましょうっていうことである。

【第二薬師寺幼稚園】

- ・保護者目線で考えると、今の時代に合った保育、環境とか当然あり、そういう保育を提供してくれるところを保護者の方が選ばれると思う。
- ・市全体でいい施設とか保育とか、定員増で市全体を盛り上げていければ。
- ・子どもが安心して育てられる、いい教育が受けられるとか、安心して下野市に預けたいって方が増えてくるのではないかと思う。
- ・園としては市全体が子どもの預け先が増え、いい教育保育できていくのがいいと思う。

【野ばら幼稚園】

- ・新しく建てれば結局施設が増えるってことは目に余る。園児獲得や転職を促すような SNS が流れたり、保育士がいやな思いをしているのが現実。市はわかっていないのではないか。正直、把握されているのか。
- ・地域で今までやってきて、既存の園や努力して新しく建ててやっているところに対する配慮がない。一生懸命やってきたのに、市が把握していないのが悲しい現実。
- ・市としてきちんと公平にやっていくのが前提だと思う。
- ・納得していないのが現実。子ども子育て会議議事録を見たが、市民の方も委員の方も納得していない。
- ・解決がなくて、建物だけ建てたり、おっつけでやっているのが納得いかないところ。それに対して市の返答がない。
- ・私たちが意見を言わないから、市が進めているからって容認しろというのはあまりにも暴力的だと思う。
- ・(園児、職員募集について) 園それぞれ努力していると思うが、そこはやっぱり企業努力であると思うし、市としては規制することはできない。そういうことをやるのはお金がかかったり、手間がかかったり園の負担が増えることになるので、園の判断に任せるとのこと。手広くやっていいと言っているのではない。
- ・市としては皆さんが子どものためを思って、やっていただいているのはわかっているつもりだが、配慮不足とか話や意見を聞く場がなかったということもあったのかもしれないので、これからは改善していければと思う。

【薬師寺保育園】

- ・薬保が認定こども園に移行するにあたって、利便性を考えれば、認定こども園になった方がいい。
- ・民営化後 2 年目あたりに保護者から育休を 2 年取りたいけど、現状だと退園になるという相談が出て、認定こども園は必要だなと実感した。移行はした方がいいと思う。

【薬師寺幼稚園】

- ・特別扱いされていると感覚はない。市から定員増やさないとされたわけでもない。
- ・市内の認定こども園は認定こども園に移行する時に 50 人以上定員を増やしている。
- ・0 歳児の定員が 2 名という状況で、在園児の兄弟を受入れが難しい中で、在園児や保護者のことを思えば、認定こども園化と定員増というところで相談させてもらった。
- ・実際計画も令和 3 年令和 4 年出生数増えてきているし、非常に重要なことだと思う。
- ・子ども子育て支援計画の中で、認定こども園になりたいということを計画 5 年前に言っておかなくてはいけないということは、今までなかったと思う。
- ・幼稚園型認定こども園から幼保連携型になった野ばら幼稚園のように柔軟に対応したところも含めて考えると、うちだけが特別扱いされているのではないといったところは強く主張したい。
- ・子ども子育て会議の委員として、子育て会議において、計画がどのように決まって運用されたかを見てきたが、その中で計画にない定員増がこれまでもあり、特に問題にされてなかったと認識している。
- ・認定こども園になり皆さん 3 号認定増やしていて、それが計画に沿って 5 年前に申請して増やしていない。
- ・1 社ではなくて、施設としてとらえていただきたい。内木学園グループは 1 社で見られると定員増できない。保護者のことを考えて、すごく感じるところではある。

【薬師寺幼稚園】

- ・計画の内容を聞いて人口の動向とか、そういうことを綿密に見直すの中で 1 号もかなり過大にとっていて、3 号がどうしても毎回不足になってしまうところを上手くまとめて。だから下野市 3 号の方は、市外を受入とか難しくなっているが、保育の方は上手く受入頂いていると思う。
- ・保育士の人数が足りていないと定数的に入れられないということはあると思う。そういった中で人口の減少があるけど、共働きが増えて、お母さんがフルタイムで働く人が多くなっているの、タイミングが来たから見直しをされているのは、とても素晴らしいことだと思う。話を伺った限り、薬師寺保育園を入れるために無理やり理由付けをしたようには感じなかった。

【わかくさ保育園】

- ・認定こども園じゃなくて、保育園の施設しかないの、0 歳 1 歳で 2 番目を産む人は 1 度退園にならなくてはならない。また、仕事を辞めて、また次のところ見つけるのに 3 ヶ月しかなく、3 ヶ月で見つけないと退園になる。認定こども園がうらやましい。ずるいと思う。持っている施設は。保育園だけは本当に辞めちゃう、それが理由で。保育園がいや

で辞めるってわけじゃなくて。そういうシステムがあるから、どうしても辞めなくてはいけない。だから、おっしゃっている意味はよくわかる。

・子どもを安心して、産み育てるってということに関しては、本当いつでもいいタイミングで下の子がほしいなっていうときに産める、そういう全体的な施設であつたらいいなあって、希望は持っている。

【わかば保育園】

・保護者は必死で、保育園を探している。園見学に来る方も、どこがいいかなって探している。地域の回りの保育園に入園したいと思っけていても、そこがいっぱい。どこがいいかなって保護者の方たち今歩いて探しているということは実感している。

・認定こども園になるってことは保護者の方にとっては、選ばれる範囲が広がるってところでマイナスではないと考える。

・子育て支援については、下野市はとてもいいところだなってすごく思っている。

・下野市に集まるっているのは住みやすいからと思っけていて、そういうところでは認可定員を増やして、範囲を広げるといふところは、すごく賛成。

・やっぱり保護者、子ども達のために、やっていくっていう気持ち、多分皆さん一緒だと思っけるので、皆さんと一致団結してやっていけるのが、私はいいなってすごく思っている。

・より素敵な下野市していったらと思っけている。